

**活用ガイド**  
**CyberLink PowerDirector 10 DE版 編**

本書では、本製品付属の動画編集ソフト『CyberLink PowerDirector 10 DE版』を使用した、映像の編集方法などソフトの簡単な使い方を紹介します。  
 ※ 詳細な活用方法に関してはDVD内のPDFマニュアルをご覧ください。

**本書をお読みいただく前に**

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってドライバーのインストールおよびソフトウェアのインストールを行ってください。

**CyberLink PowerDirector 10 DE版に関するお問合せ**

本製品に付属しております「CyberLink PowerDirector DE版」に関するお問い合わせは下記URLよりメンバー登録後行ってください。  
 詳細は【設定ガイド】の【PowerDirector 10 DE版/MediaEspresso 6.5に関するサポート/情報について】をご覧ください。

メンバー登録URL  
<https://membership.cyberlink.com/prog/member/sign-up.do>

**キャプチャーした映像を編集する**



PowerDirector 10 DE版を起動すると、「PowerDirector 10 ようこそ」画面が表示されます。

『フル機能エディター』を選択してください。



【編集】タブをクリックして、FullPlayROCKでキャプチャーした映像を編集します。編集する映像ファイルを選択して「ライブラリーウィンドウ」にドラッグアンドドロップします。

FullPlayROCKでキャプチャーしたファイルは、標準ではマイドキュメントに保存されています。

**■タイムライントラック**

**チャスタートラック**  
 チャプターを作成すると、このトラックに配置されます。

**ビデオトラック**  
 動画や画像ファイルをこのトラックに配置します。

**エフェクトトラック**  
 エフェクトをこのトラックに配置します。

**ボイストラック**  
 吹き替えを録音すると、このトラックに配置されます。音声ファイルを配置することもできます。



**字幕トラック**  
 字幕を作成すると、このトラックに配置されます。

**オーディオトラック**  
 音声ファイルをこのトラックに配置します。映像ファイルに含まれる音声はこのトラックに表示されます。

**タイトルトラック**  
 タイトルを作成すると、このトラックに配置されます。

**ミュージックビートトラック**  
 ミュージックビート検出機能を使用時は、ミュージックビートトラックが有効になります。

**キャプチャーした映像を順番に並べる**

タイムライントラックに、キャプチャーした映像をドラッグ&ドロップして並べます。配置した映像は、再生時間を変更したり分割したりすることが可能です。キャプチャーした映像以外にも、パソコンに保存されているデータを追加したり、テキストやエフェクトなどを挿入することも可能です。



トラックには、2種類の画面があります。【ストーリーボード】【タイムライン】をクリックしてトラック画面を切替えます。

**■ストーリーボード画面**



この画面を表示するには、【ストーリーボード】タブをクリックします。

映像を紙芝居の様に並べることで、簡単にストーリーを作成することができます。

**パソコンに保存されている音声や静止画を挿入する**



左図の部分をクリックすると、パソコンに保存されている画像や、音声などのメディアファイルを挿入することができます。

**■タイムライン画面**



映像や音楽、トランジションやエフェクトなど、秒単位の細かい調整を行う画面です。



**映像のトリミング**

映像と映像の境界にカーソルを移動して、カーソルが「⇄」に変わった状態でドラッグすることで、映像をトリミングすることができます。



**映像の分割**

分割したい箇所に水色のカーソルを移動して、【分割】をクリックすると、映像を分割することができます。



**■背景画像を挿入する場合**

「背景」を選択すると、背景として使用できる画像が表示されます。タイムライン上にドラッグ&ドロップすると、背景画として挿入することができます。



**■音声を挿入する場合**

「音声」を選択して、パソコン内の音声ファイルを選択すると、音声ファイルのアイコンが表示されます。気に入ったファイルをタイムライン上にドラッグ&ドロップすると、BGMや音声ファイルとして挿入することができます。



## キャプチャーした映像を編集する（続き）

### 映像に効果を加えたり音声や文字を挿入する（ルームについて）



ルームを使用することで「映像に飾りを加える」「場面転換などの様々な効果（トランジション）加える」「字幕やナレーションなどを追加する」など、映像を装飾することができます。

#### 例）場面転換の効果を設定する（トランジション）



「トランジションルーム」を選択し、あらかじめ収録されているコンテンツから、トランジションを選択して、映像と映像のつなぎ目にドラッグ&ドロップします。

設定されたトランジションは、動作方法を設定することができます。



#### 1 メディアルーム

動画、音声、画像ファイル、プロジェクトに追加するカラーボードおよび背景を挿入する際に使用します。

#### 2 エフェクトルーム

動画や画像にエフェクトを挿入する際に使用します。

#### 3 PIPオブジェクトルーム

動画や画像にフレームやハートマークなどPIPオブジェクトを挿入する際に使用します。

#### 4 パーティクルルーム

動画や画像に粒子や煙などを挿入する際に使用します。

#### 5 タイトルルーム

動画や画像にタイトルや吹き出しなどを挿入する際に使用します。

#### 6 トランジションルーム

映像と映像の場面転換時の効果を設定する際に使用します。

#### 7 音声ミキシングルーム

オーディオトラックの調整に使用します。

#### 8 吹き替え録音ルーム

動画を再生しながら吹き替えを録音することができます。

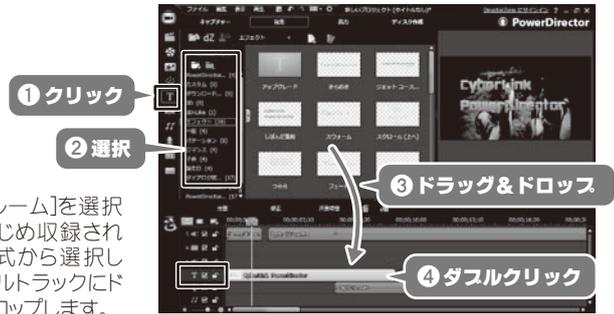
#### 9 チャプタールーム

プロジェクトにチャプターマーカーを設定する際に使用します。

#### 10 字幕ルーム

字幕を挿入する際に使用します。

#### 例）タイトルを設定する



「タイトルルーム」を選択し、あらかじめ収録されている書式から選択して、タイトルトラックにドラッグ&ドロップします。

タイムラインに挿入したタイトルをダブルクリックすると、デザイン画面が表示されます。

この画面では、文字の変更の他に、文字のスタイルや位置などを変更できます。



## 自分の環境に最適なファイル形式で書き出す



編集が完了した映像は自分の環境に最適なファイル形式で書き出すことができます。

「[出力]」→「[標準2D]」の順にクリックして、ファイル形式の選択から自分の環境に最適なファイル形式を選択します。

「[開始]」をクリックすると、出力が始まります。

### 様々なデバイスやオンライン用のファイルを書き出す



映像機器や携帯端末、ゲーム機など、あらかじめいくつかの端末用に書き出し設定が用意されており、簡単な操作で各端末に応じた映像ファイルを書き出すことができます。



書き出した映像を、オンラインの映像サービスにアップロードすることができます。

## 編集した映像をFacebookやYouTube用の動画に書き出す

編集した映像を、FacebookやYouTube用の動画に書き出して、アップロードすることができます。

⚠ あらかじめアップロード先のアカウントを取得している必要があります。取得済みのアカウントで認証を行わないと、動画を書き出すことはできませんのでご注意ください。本機能を使用するには、インターネットに接続している必要があります。



編集が完了したら、「[出力]」→「[オンライン]」の順にクリックして、アップロード先のサービスを選択します。

選択したサービスに応じて、④の入力内容が変わります。必要に応じて、出力形式の設定や必要事項を入力してください。

「[開始]」をクリックします。



認証画面が表示されます。画面の指示に従って、各サービスのアカウントでログインして認証を行ってください。